

一緒に開けよう! まちの未来へつづく

鹿嶋市議会だより

とびら

— CONTENTS —

- 新たな議会構成でスタート! 2~4
- 5月臨時会・6月定例会の概要 5
- 討論 6
- 委員会の活動 6~7
- ここが知りたい! 一般質問 8~13
- きかせて! あなたの夢 14



No.113 (令和5年6月議会を掲載)

スタート!

5月12日に開催された、令和5年第2回臨時会で、議長・副議長、委員会などの構成が決まりました。

議長
内田 政文



副議長
河津 亨

議長挨拶 内田 政文

この度、議員各位のご推挙により、鹿嶋市議会議長に就任いたしました。大変光栄であり、身の引き締まる思いでございます。

市議会は政策実現のため、市民の声を市政に反映させる役割があります。役割を全うするためには、思いを一つにまとめ、「オール鹿嶋市議会」で市民の声を市政に届けていきたいと考えております。

また、時代の変化に応じた、議会の運営方法や議会機能のさらなる強化に向けて、市民に開かれた議会、自立した議会、効率的な議会を念頭に議会改革を推進してまいります。

そして、様々な課題に対し議会全体で意識の共有を図り、市民のための議会運営を行っていく所存でございます。

今後とも、市民の皆様のご理解とご協力をよろしくお願い申し上げます。

副議長挨拶 河津 亨

この度、議員の皆様のご推挙により、鹿嶋市議会副議長に就任いたしました。身に余る光栄でありますとともに、その責任の重さを痛感しております。

副議長の役割は、これまでに培ってきた経験を活かしながら、議長を補佐し、公正・公平に皆様の意見を聞くことだと考えております。

また、地域の課題に対し、市民の皆様の声に真摯に耳を傾け、その声を市政に反映できるよう議会改革を進め、市民に開かれた議会にするべく、努力する所存でございます。

全力で取り組んでいきますので、皆様のご指導、ご協力をよろしくお願い申し上げます。

新たな議会構成で

総務生活委員会

DX・行革推進室、政策企画部、総務部、市民生活部、会計課、監査委員事務局に関すること、また、他の委員会が担当しないことを審査・調査します。



委員長 笹沼 康弘



副委員長 内野 敬仁



委員 内田 政文



委員 池田 芳範



委員 田口 茂



委員 宇田 一男



委員 佐藤 信成

文教厚生委員会

健康福祉部と教育委員会に関することを審査・調査します。



委員長 菅谷 毅



副委員長 中園 薫



委員 根崎 彰



委員 小池みよ子



委員 山口 哲秀



委員 斉藤 裕樹



委員 加勢 誠

都市経済委員会

経済振興部、都市整備部、農業委員会に関することを審査・調査します。



委員長 舩井 明宏



副委員長 横山 揚久



委員 立原 弘一



委員 河津 亨



委員 栗林 京子



委員 樋口 龍章

予算決算常任委員会

委員長	栗林 京子
副委員長	笹沼 康弘
※委員は、議長を除く全議員です	

鹿嶋市監査委員

池田 芳範

議会運営委員会

委員長	山口 哲秀
副委員長	栗林 京子
委員	田口 茂
	小池みよ子
	佐藤 信成
	菅谷 毅
	笹沼 康弘
	内野 敬仁
	樋口 龍章

広報広聴委員会

委員長	内野 敬仁
副委員長	舩井 明宏
委員	小池みよ子
	横山 揚久
	中 蘭 薫
	樋口 龍章
	斉藤 裕樹
	加勢 誠

鹿行広域事務組合議会

議員	宇田 一男
	内野 敬仁
	横山 揚久

鹿島地方事務組合議会

議員	山口 哲秀
	栗林 京子
	菅谷 毅
	笹沼 康弘
	舩井 明宏

茨城県後期高齢者医療広域連合議会

議員	小池みよ子
----	-------

マイナポイント申込期間延長等に伴う補正予算や 地方税法等に関する条例の一部改正について審議

5月
臨時会

5月12日、令和5年第2回臨時会が開催され、市長から提出された4件の議案を審議しました。議決結果は次のとおりです。

議案番号	議 案 名	概 要	結果
市長から提出された議案 4件			
議 案 第33号	令和5年度鹿嶋市一般会計補正予算（第2号）	歳入歳出それぞれ3億3,783万9,000円を追加し、総額240億9,200万2,000円とするもの。	原案 可決
報 告 第2号	専決処分について（令和5年度鹿嶋市一般会計補正予算（第1号））	歳入歳出それぞれ3億516万3,000円を追加し、総額237億5,416万3,000円とするもの。	原案 承認
報 告 第3号	専決処分について（鹿嶋市税条例の一部を改正する条例）	地方税法等の一部を改正する法律が令和5年4月1日に施行されることに伴い、軽自動車税に係る環境性能割等についての規定を整備するため、条例の一部を改正するもの。	原案 承認
報 告 第4号	専決処分について（鹿嶋市国民健康保険税条例の一部を改正する条例）	地方税法施行令の一部を改正する政令が令和5年4月1日に施行されることに伴い、国民健康保険税の軽減対象世帯を拡大するため、条例の一部を改正するもの。	原案 承認

プレミアム商品券事業に伴う補正予算や 鹿嶋市監査委員の選任などについて審議

6月
定例会

6月13日～6月29日の17日間、令和5年第2回定例会が開催され、市長から提出された5件の議案を審議しました。議決結果は次のとおりです。

議案番号	議 案 名	概 要	結果
市長から提出された議案 5件			
議 案 第34号	令和5年度鹿嶋市一般会計補正予算（第3号）	歳入歳出それぞれ1億971万2,000円を追加し、総額242億171万4,000円とするもの。	原案 可決
議 案 第35号	鹿嶋市保育所の設置及び管理に関する条例等の一部を改正する条例	子ども・子育て支援法等の改正に伴い、条項ずれの修正等を行うため、条例の一部を改正するもの。	原案 可決
議 案 第36号	鹿嶋市監査委員の選任について	鹿嶋市監査委員の選任にあたり、地方自治法第196条第1項の規定により、議会の同意を求めるもの。池田芳範（再任）	原案 同意
議 案 第37号	市道路線の変更について	整備に伴い大小志崎地内の道路1路線を変更するもの。	原案 可決
議 案 第38号	令和5年度鹿嶋市一般会計補正予算（第4号）	歳入歳出それぞれ3,960万円を追加し、総額242億4,131万4,000円とするもの。	原案 可決



議決結果の詳細は、
鹿嶋市議会ホームページで
公開しています。





討論

■議案第34号 令和5年度鹿嶋市一般会計補正予算(第3号)
歳入歳出それぞれ1億971万2000円を追加し、総額242億171万4000円とするもの。

賛成



加勢 誠 議員

令和5年度鹿嶋市プレミアム付デジタル商品券事業は、昨年度実施されたプレミアム商品券事業の消費者となる市民の声や反応、要望をしっかりと拾い上げ、検討、対策を講じた上で、今年度のプレミアム商品券事業を実施するべきである。市民の声として、抽選に落選された方が利用できる、会計時に利用できるものではないものがある、市民がしっかりと内容を理解していない、生活が苦しく節約して生活を行っている中で先行投資をしないといけない、などの

声を聞いている。そのような考え方にも配慮していただき、より良い実施に向けて、周知徹底や制度設計をしてもらいたい。

賛成



斉藤 裕樹 議員

令和5年度鹿嶋市プレミアム付デジタル商品券事業について、一部の運営方法に改善の必要がある。当初は、スマートフォンのアプリを活用し、全ての商品券がデジタル発行されるという案だったが、約1割の市民の方はガラケーを所有、もしくは携帯端末を持っていない方が存在している。そのような方々も、商品券が購入・利用できるよう、昨年同様に紙媒体の発行を継続していただきたい旨を述べさせていただいた。また、本事業の周知方法は、ホームページへの掲載やSNS、公共施設でのチラシの設置や回覧板などが挙げられるが、情報が届かない方も存在するのではないかと感じる。そのような方にも配慮していただきながら、実施に向けて制度設計をしていただきたい。

● 委員会の活動 ●

プレミアム付き商品券事業等の補正予算を審査

6月23日、29日に開催した予算決算常任委員会では、補正予算2件について審査しました。

主な質疑と討論

■議案第34号 令和5年度鹿嶋市一般会計補正予算(第3号)

問 プレミアム付き商品券を、全てデジタル商品券に切り替えた経緯は。

答 今回の商品券事業の目的は事業者支援、消費の喚起、デジタル化の推進である。事業者や市民にデジタルの利便性を感じてもらうため、昨年度は一部紙商品券で実施したが、今年度はデジタルのみとした。

問 スマートフォンを持っていない人にはメリットがないように思うが、どう考えているのか。

答 デジタル商品券は、スマートフォンを持っていない方は購入できないが、今回、同一家族の方がまとめて申し込みできるようにシステム変更をし、対応を予定している。

【賛成討論】

デジタルに特化しすぎており、平等である市民の権利が侵害される可能性がある。しっかりとした対応をしていただきたい。

採決の結果、全ての議案について全員賛成で、原案のとおり可決すべきであると決定しました。

また、審査終了後、執行部からプレミアム付デジタル商品券事業について「委員各位の意見等を踏まえて発行規模を変更し、紙商品券を追加する」旨の説明を受けました。

予算決算常任委員会

鹿嶋市保育所の設置及び管理に関する条例等の一部を改正する条例を審査

文教厚生委員会では、1件の議案を審査しました。また、セイビ堂ドリームパーク（鹿嶋市地域子育て支援センター）の現地調査を実施しました。

■議案第35号 鹿嶋市保育所の設置及び管理に関する条例等の一部を改正する条例

こども家庭庁の設置に伴い、子ども・子育て支援法（平成24年法律第65号）等が改正されたため、同法等を引用する条例の一部を改正する内容について、詳細な説明を受け、慎重に審査を行いました。

採決の結果、議案第35号は全員賛成で、原案のとおり可決すべきであると決定しました。



セイビ堂ドリームパーク（鹿嶋市地域子育て支援センター）

都市経済委員会

市道路線の変更について審査

都市経済委員会では、1件の議案を審査しました。

主な質疑

■議案第37号 市道路線の変更について

問 20年来の要望があったとのことだが、もう少し早く整備できなかったのか。

答 底地が整理されていないことや幅員が足りないなど要件が整っていないが、今般地権者から寄附があったことから延長を行った。

問 今回整備された先の未舗装区間について、地区住民から整備の要望が出てくるのではないか。先線の計画はどのようになっているか。

答 未舗装区間の整備要望は上がってきていない。認定道路の底地整理もできていない状況であるので、今後は底地整理を引き続き行っていく。

意見 従来からの住民要望は少しずつでも実現を。

問 認定道路周辺での砂利採取は住環境に悪影響があるのでは。

答 砂利採取の許可権は茨城県にある。市としては採取に反対の意見を出しているが、最終的には認可が下りているのが現実である。

採決の結果、議案第37号は全員賛成で、原案のとおり可決すべきであると決定しました。



終点が変更された市道2172号線（大小志崎地内）

11人の
議員が
登壇！

ここが知りたい！

一般質問



一般質問とは、議員が市政全般にわたり、市長などの執行機関に対し、事務の執行状況や将来に対する方針などについて質問したり、あるいは報告、説明を求めたりするものです。

質問者	掲載ページ
 笹沼 康弘	8
 舩井 明宏	9
 宇田 一男	9
 小池みよ子	10
 栗林 京子	10
 中 蘭 薫	11

質問者	掲載ページ
 佐藤 信成	11
 立原 弘一	12
 山口 哲秀	12
 斉藤 裕樹	13
 横山 揚久	13

掲載した内容は、質問の一部を要約したものです。詳細は、鹿嶋市議会のホームページにある「議会録画配信」や「会議録システム」をご覧ください。

この二次元バーコードまたは各議員の顔写真下の二次元バーコードから一般質問の映像がご覧いただけます。



問 笹沼 公民館の役割と目的、今年度から名称を公民館に統一したことについて、これまでの経緯を含め伺う。

答 教育委員会事務局局長 公民館は、住民の教養の向上、健康の増進、情操の純化を図り、生活文化の振興、社会福祉の増進に寄与することを目的とし、人づくり、つながりづくり、地域づくり、いわゆる学びと活動の好循環を生む拠点として活動している。平成16年度に公民館にまちづくりセンターを併設し、社会教育施設の性格と市民活動の拠点施設として活動してきたが、公民館の役割が社会変化とともに広範囲となり、また2つの名称が混在し分かりにくいとの市民の声もあり、令和5年度から名称を公民館に一元化した。

公民館について



問 笹沼 地区まちづくり委員会、コミュニティプランの目的は。

答 教育委員会事務局局長 地区まちづくり委員会は、地域の住民を主体とした組織で、地区公民館を活動拠点とし、担当エリアである小学校区を地域コミュニティの範囲として、地区住民の総意に基づき、連帯、協調して事業活動を展開し、社会教育、福祉、健康、環境などの地域課題に対する学習と実践活動の活性化を図ることを目的としている。自治会や学校、各団体とともに環境問題や防災、地域福祉などの幅広い分野の活動に取り組みされており、共創のまちづくりを推進していただいている。コミュニティプランは、公民館活動だけではなく、自治会活動や様々な市民活動団体の活動も含めて、それぞれの地域の実情に合わせた活動方針、今後取り組むべき事業などがまとめられた計画である。引き続き地区まちづくり委員会を中心とした地域の皆様とともにコミュニティプランについて考えていく。

地区まちづくり委員会について

コミュニティプランの目的は。

地区まちづくり委員会は、地域の住民を主体とした組織で、地区公民館を活動拠点とし、担当エリアである小学校区を地域コミュニティの範囲として、地区住民の総意に基づき、連帯、協調して事業活動を展開し、社会教育、福祉、健康、環境などの地域課題に対する学習と実践活動の活性化を図ることを目的としている。自治会や学校、各団体とともに環境問題や防災、地域福祉などの幅広い分野の活動に取り組みされており、共創のまちづくりを推進していただいている。コミュニティプランは、公民館活動だけではなく、自治会活動や様々な市民活動団体の活動も含めて、それぞれの地域の実情に合わせた活動方針、今後取り組むべき事業などがまとめられた計画である。引き続き地区まちづくり委員会を中心とした地域の皆様とともにコミュニティプランについて考えていく。

新スタジアムの周辺整備について

問 舛井 スタジアム周辺整備を調査研究していく上で、重要視していることは。

答 政策企画部長 アントラースによる建設候補地の選定が大前提だが、幅広い分野の機能を配置するなど、新スタジアムの多機能化と併せて、周辺エリアが年間を通じてにぎわいのあるエリアとなるよう検討したい。

問 舛井 スタジアム周辺整備について、新たな公共施設整備を考えているのか。

答 政策企画部長 新スタジアム周辺エリアに新たなにぎわいを創出するため、公共施設などを整備することと手法の一つであるが、市の財政状況も見極めながら慎重に協議、検討が必要と考える。



録画映像
あきひろ ますい
舛井 明宏 議員

問 舛井 スタジアム周辺の整備を検討していく中で公共施設の複合化を検討する場合、調査研究を願いたいのが、借地に建設されている鹿嶋市役所庁舎と中央図書館の移転。この2施設のライフサイクルコストを考慮しつつ複合化を検討することは決して無理、無駄ではないと考えるが、市の考えは。

答 総務部長 第1庁舎は建築から50年以上を経過しており、借地料は昨年度までの総額で約4億1603万1000円となる。今後本庁舎の老朽化による建て替えは避けては通れないことであり、移転、複合施設化についても調査研究をする。

答 教育委員会事務局部長 中央図書館は年間約640万円の借地料を支出しており、老朽化も進んでいる。スタジアム周辺に移転することは、借地料や施設の老朽化等の課題解決には有効な方法であるが、図書館の利用にどのような影響を及ぼすかなど、十分な研究が必要である。また、図書館の役割やサービスは、デジタル化の進展に合わせて大きく変化しており、今後の図書館の在り方を十分見極める必要がある。

自治体DX※の取組について

問 宇田 市民に対しデジタル化の利便さを理解してもらうことが重要。今後、取組を進めていく事業は、どのようなものと考えているのか。

※デジタル技術を社会に浸透させて、人々の生活をよりよいものへと変革すること。

答 DX・行革推進室長 情報システムの標準化を進めるとともにマイナンバーカードの利活用も含め、これからの環境の変化にも適切に対応しながら、作業を人間に代わってロボット基盤が処理を自動で行うロボティック・プロセス・オートメーション、いわゆるRPAや電子申請基盤の連携などを有効に活用していくほか、最新技術の動向にも注視し、「行かない、書かない、待たせない」窓

口の実現に向け、最適な行政サービスを構築し、市民サービスの向上に努める。

問 宇田 行政職員の業務効率化にも寄与するDXの取組状況と企業等で導入しているノーコードツール活用の検討、調査状況について伺う。

※あらかじめ用意された部品を組み合わせて、プログラミングの知識がなくても、簡単にアプリケーションやWEBサイトを製作できるツール。

答 DX・行革推進室長 DXの取組状況については、ペーパーレス会議の実施、職員間で迅速に情報を共有するチャットツール基盤の構築、RPAによる事務作業の自動化などがある。また、対話型AIの利活用検証のための実証実験を実施している。RPAについては、888時間の作業時間短縮の効果があつた。ノーコードツールなどのデジタル技術についても、効果的な環境構築に向けて活用策を模索していく。今後の方針としては、各種業務の無理、無駄、ムラを洗い出し、その中でデジタル技術を効果的に活用できるかを見極めながら検討していく。



録画映像
うだ かずお
宇田 一男 議員



ごみ問題について

問 小池 高齢化社会が急速に発展する中、安心して鹿嶋で過ごすためには、戸別回収は必要不可欠な事業と考えるが、市の見解を伺う。

答 市民生活部長 戸別回収は、高齢化社会の進展とともに必要性は高まるものと認識している。戸別回収を必要とする方は、独り暮らしの高齢者が中心になるかと思うが、対象者の具体的な要件を整理しながら、実情に沿った回収体制を構築すべきであり、そのためには財源の確保や利用者の費用負担も発生する。市としては、介護保険制度による運用状況を勘案しながら、福祉行政、地域廃棄物行政が連携し、ごみ捨て困難者にとって利用しやすい方法を調査研究していく。

インフラ整備について

問 小池 鹿島神宮駅へのエレベーター設置について、市の考えは。

答 政策企画部長 鹿島神宮駅へのエレベーター設置については、福祉の観点から大きな課題であると考えている。市では、ＪＲ鹿島線沿線自治体と協力して、鹿島神宮駅を管理するＪＲ東日本千葉支社に対して要望活動を実施している。なお、市単独での設置は、多大な財政負担を伴うことから、国や鉄道事業者などのご協力をいただきながら検討をしていくべきものと考えている。

問 小池 鹿嶋勤労文化会館へのエレベーター設置について、市の考えは。

答 教育委員会事務局部長 勤労文化会館のエレベーターの設置について、全ての方々が等しく利用できる施設であることが大前提と考え、様々な観点から調査検討を行ってきたが、構造上の問題と改修費用等から、現在、計画的に行っているホール内の老朽化改修工事を優先とし、エレベーターの設置については会議室棟の大規模改修工事を行う際に検討すべきものと考えている。



中心市街地の現状は

問 栗林 市は中心市街地の１期計画の成果を踏まえて、現状をどう捉えているか。

答 市長 令和４年３月に市営宮中地区駐車場の整備が完了し、令和５年４月にオープンしたセイビ堂ドリームパークは市内在住の親子による利用者が多く、土日や祝日には市外の方も多く訪れるなど、日常利用と非日常利用の両面で効果が現れている。また、チャレンジショップ補助事業を利用し出店した店舗において、市民と観光客の利用が見受けられており、着実に中心市街地のあるべき姿に近づいていると感じている。

新神宮橋の完成は

問 栗林 令和８年には１２年に１度の御船祭りがある。前回、神宮橋の

高欄部を朱色に染め、お祭りを盛り上げた。新神宮橋の完成予定と車道四車線化について伺う。また神宮橋を残すことはできないか。

答 都市整備部長 新神宮橋は、完成時期の見通しが立たない状況であり、鹿島神宮駅北側の跨道橋についても同様である。今後も引き続き県や隣接する潮来市などと連携を図り、国土交通省や国会議員に対し、早期完成を強く要望していく。また旧神宮橋については、安全性を考慮し、新神宮橋が完成する際に撤去されることが現実的な対応である。

ごみステーションの利用について

問 栗林 自治会に加入しないごみステーションの利用ができない地区もあれば、会費を払えば利用できる地区があるが、市の見解は。

答 市民生活部長 ごみステーションの運営管理は利用者間で行い、負担等は、利用者数などの様々な事情で決められているものと推察する。そのため、利用に当たっては、地域自治会加入の有無については、地域の実情に応じて設定されている。

※ チャットGPTについて

問 中園 チャットGPTの活用について、今後の考え方や使用における見解、具体的な活用方法と注意事項についての見解は。

※使用者の質問に対し、人間のようにAIが答えるチャットサービス。

答 市長 チャットGPTの活用については、現段階から活用していく必要があると考える。早い段階から模索していくことで職員の業務負担の軽減を図り、それによってAIにはできない対面サービスや、重要あるいは複雑な業務に注力することが可能となり、行政サービスの向上が図られるものと確信をしている。一方で、利用に際しては、個人情報や機密情報の保護、透明性、説明責任といった要素を十分に考慮しながら適切に運用していく。そのため、適



なかその かおる
中園 薫 議員

切な運用ルールに基づき、効果的な最新技術の活用策を模索するため、チャットGPTの活用実証実験のワーキングチームを立ち上げ、検証を開始している。

事業者へのキャッシュレス導入補助は

問 中園 市内の事業者で、キャッシュレス決済を導入していない企業が多々あると感じているが、事業者に対し導入補助を考えているか。

答 経済振興部長 市では令和3年度に新たなキャッシュレス決済を導入した事業者に対して補助金を交付する「鹿嶋市キャッシュレス決済導入店舗協力金事業」を実施し、市内111の事業者に新しいキャッシュレス決済を導入いただいた。また、そのうち61の事業者については、この事業をきっかけに初めてキャッシュレス決済を導入いただいております。キャッシュレス決済の普及に効果があったものと考えている。今後、必要に応じてキャッシュレス化を推進するための支援策を検討していく。

雨水の排水問題について

問 佐藤 排水設備の機能が失われている箇所は、行政が自ら機能を回復していくべき。機能が失われている排水設備について、対応できていない理由を伺う。

答 都市整備部長 詰まりや排水機能低下等が確認された場合は、適宜清掃など対応を図っている。維持管理においても、健全な排水機能が維持できるよう適切な対応を図る。

意 佐藤 機能が失われているものに関しては速やかな機能回復を望む。

荒野台駅周辺の整備は

問 佐藤 荒野台駅周辺地区について、誰も住んでいない道路の整備をするのであれば、毎回水浸しになる自分たちの家の周りを何とかしてほしいとの話を伺っている。何か不公平は。



さとう のぶなり
佐藤 信成 議員

平ではないか。荒野台駅周辺の整備がどのくらい進んだのか伺う。

答 都市整備部長 荒野台駅東側の雨水対策工事は、令和7年度の完成を目指している。また、荒野台駅西側についても、北浦へ放流する計画となっている。計画的な対策を着実に進めるとともに、緊急避難的な対策についても柔軟に対応する。

死亡手続きについて

問 佐藤 手続きを1か所で可能にするワンストップ窓口を設置することとはできないか。

答 健康福祉部長 現在情報収集しているところであり、今後、設置に向け調査研究していく。

オストメイト保有状況は

問 佐藤 オストメイト（人工肛門装着者）用の災害用トイレの備蓄状況は。

答 市民生活部長 現在2個保管している。災害の規模により、必要数を確保することが厳しくなることも想定されるので、非常用オストメイトトイレの確保について、検討を進める。



たちばな ひろいち
立原 弘一 議員

マイナカードについて

問 立原 マイナンバーカードには、様々な不具合、欠陥が指摘されている。一連の不具合についての見解を伺う。

答 市長 マイナンバーカードの普及を促進している中、不適切な事実が相次いでいることは、マイナンバー制度への信頼性に影響を及ぼしかねないものとして重く受け止めている。国におけるシステムの改善状況など、安全なシステム運用が図られているかを注視していき、その上でマイナンバーカードの取得を希望される方については、引き続き申請をサポートする。

給食の無償化について

問 立原 市として給食の無償化についてどのように考えているか、見

解を伺う。

答 市長 実現させたい思いはあるが、本市が学校給食費を無償化するには、毎年2億4000万円の財源を継続的に確保する必要がある。教育分野では、校舎等の大規模改修工事今後10年間で約49億円が必要と見込んでおり、市独自財源による学校給食無償化は難しいと考えている。

新型コロナウイルスについて

問 立原 新型コロナウイルス感染症が、5月8日をもって感染症2類から5類に変更になったが、防疫という観点から、行政がしっかり機能していくために、PCR検査を充実させていたきたい。市の考えを伺う。

答 感染症対策参事 5類移行後の検査費用については、検査キットの普及や他の疾患との公平性を踏まえ、公費負担は終了となった。ただし、防疫の観点から、入所系高齢者福祉施設等のクラスターの対策としてのPCR検査は引き続き公費での対応が継続されている。市としても、引き続き、国や県の情報収集を行い、感染症対策について市民の皆様へ周知を行っていく。



やまぐち てつひで
山口 哲秀 議員

不登校支援の推進は

問 山口 文科省は、令和5年3月31日に誰一人取り残さない学びの保障を社会全体で実現していくとのCOOLOプランを策定した。教育委員会が不登校の子どもの保護者の会を設置し、支援する必要があると思うが、今後の取組を伺う。

答 教育委員会事務局部長 学校や教育委員会では保護者の会を設けてはいないが、本市では、COOLOプランを取りまとめられる前から市教育センターに相談員を配置し、学校規模により差はあるが、各学校にスクールカウンセラーの派遣を行い、それぞれ保護者の相談にも対応している。今後も保護者に寄り添った対応を継続していく。

問 山口 教室に行きづらくなった児童生徒が学校内で落ち着いて学習

できるスペシャルサポートルームを全ての小中学校に設置する必要があると思うが、現在の設置状況と今後の取組を伺う。

答 教育委員会事務局部長 本市では、保健室や校長室とは別に部屋を設け、学習や生活ができるスペースを校内に設けた中学校が1校、別な形態ではあるが、サポートする体制を整えている学校が小学校2校、中学校1校ある。実践校の成果を検証し、他の学校については学校の実態に応じ対応していく。

問 山口 不登校支援への対策について文科省は、今すぐできる取組から速やかに実行することを、全国の教育委員会に求めている。教育長に見解と決意を伺う。

答 教育長 新型コロナウイルス感染症の影響などにより、不登校児童生徒が増加していることは大きな課題である。不登校対策として、本市は国が示したCOOLOプランに先駆けて様々な取組を行っており、今後はさらに充実させ、不登校ゼロを最終目標として、今後も最大限努力していく。

不登校生徒支援は

問 斉藤 鹿嶋市の不登校生徒数の実態と課題、今後の対策は。

答 教育委員会事務局部長 不登校児童生徒は令和元年度に比べて令和3年度では小学校で約3倍、中学校で約1・9倍の増加となっている。主な要因は無気力や生活の乱れのほか、友人関係のつまずきなど、多岐多様にわたると考えている。対策として適応指導教室や相談窓口の設置などの取組を講じ、児童生徒一人一人にきめ細やかな対応を行っていく。

問 斉藤 体験型学習等の探求的学びの機会も必要と考える。ゆうゆう広場での学校生活復帰支援の方法、具体的な事例は。

答 教育委員会事務局部長 適応指導教室ゆうゆう広場では、体験活動を通して児童生徒の自立を促し、登

校再開につながるよう取組んでいる。農業体験や遠足等の校外活動、コミュニティを育てる活動、

補充学習とオンライン学習の併用、調理実習などを行っている。令和4年度は、正式通級生9名のうち1名が学校復帰、3名がゆうゆう広場と併用して学校に登校した。今後もうゆう広場が社会的自立と学校復帰の第一歩となるよう支援していく。

マスクの着用について

問 斉藤 マスクの長時間着用により悪影響を及ぼす懸念があるが、子どもたちの着用の現状は。

答 教育委員会事務局部長 学校等のマスクの着用については、国の指針に基づき児童生徒及び保護者に判断を任せている。2歳未満の児童については息苦しさや体調不良を訴えることや、自分で外すことが困難であることから、着用は推奨されていない。あわせて、基礎疾患があるなど、マスクの着用を希望する園児や保護者に対しては、意思に反してマスクを外すことを求めないよう配慮するとともに、感染対策として引き続き換気等の対策を講じていく。

ヘルメット着用推進は

問 横山 各中学校ではヘルメットを無料提供しているのか。また、高校生以上の利用者に対してはどのような対応をしているのか。

答 教育委員会事務局部長 昭和53年の道路交通法の改正を受け、中学生に対してヘルメットの着用を求め、現在に至っている。ヘルメットは、保護者に購入していただいているが、費用を抑えるため、教育委員会では一括発注の取りまとめを行っている。

答 市民生活部長 交通安全運動街頭キャンペーン等を通して、鹿嶋市交通安全推進協議会及び自転車安全利用協力校である鹿島学園高等学校の生徒にご協力をいただき、ヘルメット着用促進のチラシ配布や安全な自転車利用を呼びかけるなど、ヘルメット着用の推進を行っている。

通学定期の補助について

問 横山 鹿島臨海鉄道の利用促進を促す上で、通学定期に対して補助を出すことはできないか。

答 政策企画部長 通学定期券購入にかかる経済的負担が大きいことは認識しているが、市の補助は考えられない状況。市では、沿線市町と共同で鹿島臨海鉄道に対して、車両の検査や老朽車両の更新などにかかる費用を対象とした補助を継続して実施している。これによって経営コストの運賃への転嫁抑制も図られているものと認識している。

意 横山 各自治体等と協力して運賃補助という形のものと考えていく中で、通学定期の軽減を検討していただきたい。

道の駅建設について

問 横山 スタジアム周辺計画に絡める中で、道の駅を計画する予定は。

答 市長 現時点で市主導での道の駅建設計画はない。しかし、財政状況が好転し、建設のための財源の確保ができるなど見通しが立てば、検討をしていきたい。



さいとう ひろき
斉藤 裕樹 議員



よこやま やすひさ
横山 揚久 議員



—鹿嶋っ子の夢、
応援しています—

**きかせて！
あなたの夢**



波野小学校6年生
横田小桜さん

薬剤師になるために勉強する日々

私の将来の夢は薬剤師になることです。

きっかけは、熱が出て病院に行ったとき、薬剤師さんからお薬の使い方を丁寧に教えてもらったおかげで、すぐに病気が良くなったという経験があったからです。薬剤師さんを目指し始めたのは5年生のときです。『自分のなりた職業』という授業で、薬剤師について詳しく学び、さらに薬剤師になりたいと思いました。

勉強が難しいことも分かっていますが、休みにテスト勉強をしたりして、努力をしています。夢についてはお父さんもお母さんも応援してくれています。

また、私には1歳と2歳、5年生の弟がいるのですが、弟たちと遊ぶのが大好きです。お父さんとお母さんが大変なときに、弟たちと遊んでいると「ありがたい」と言ってもらえることが、本当に嬉しいです。

家族思いの小桜さんであれば、思いやりのある薬剤師になれることでしょう。夢の実現に向かって頑張ってください！（舛井・樋口）

議 会 T O P I C S

議員が表彰を受けました！

菅谷議員が、永年にわたり地方自治の発展と市政の振興に貢献した功績（議員在職8年以上）により茨城県市議会議長会から表彰を受けました。



左から菅谷毅議員、内田政文議長

取手市及び海南市に 救援金を送付しました！

梅雨前線に伴う大雨及び台風第2号により、鹿嶋市と「災害時相互応援に関する協定」を結んでいる、取手市及び和歌山県海南市に大きな被害がありました。支援を行うため、鹿嶋市議会では両市にそれぞれ10万円の救援金を送付しました。

委員長 内野敬
副委員長 舛井宏仁
委員 小池明宏
委員 横山みよ子
委員 中園揚久
委員 樋口薫
委員 齊藤裕樹
委員 加勢誠

◆広報広聴委員会

これからも市民の皆様にとっ
て分かりやすく、より身近に感
じていただける市議会の広報紙
となるよう取り組んでいきます。

委員会としても、新たな取り
組みに挑戦をしていきたいと考
えています。

編集後記 内野敬仁

広報広聴委員会の委員長に就
任しました内野敬仁です。

4月の選挙を経て、鹿嶋市議
会の顔ぶれも大きく変わりました。
また、新型コロナウイルス
感染症も5類に移行したことによ
り、徐々に日常を取り戻しつつ
あります。

次回定例会の会期日程 は未定です

詳細が決まり次第HP
でお知らせいたします。

